

# 知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより  
2008年12月

## 第28号



本を読む人シリーズ(28)

古今東西の本を読む人を紹介するシリーズです。

アルベール・アンカー「髪を編む少女」(『芸術新潮』2008/2月号)

### ▼ 開館10周年を迎えて

東部図書館は、平成10(1998)年11月に3館目の県立図書館として開館し、今年で開館10周年を迎えることができました。当館は、県東部地域の資料・情報センターとして市町立図書館等をバックアップするとともに、緑に囲まれた静かな環境の中で、ゆったりと読書を楽しめるくつろぎのスペースとしてご利用いただき、おかげさまで、入館者も11月には215万人を超えるまでになりました。

さて、県立図書館では、県民の様々な調査・研究に役立てるよう専門書や参考図書も多く所蔵するとともに、それぞれの館が特色を持って資料の収集に心がけています。当館は文学、歴史分野に留意しており、千葉市にある中央図書館は千葉県関係資料と児童サービス資料が充実しています。松戸市にある西部図書館は科学技術・医学・工学関係の資料や雑誌類などを特に多く収集し、3館が一体となってサービスに努めています。

また自宅にいながらインターネットで資料検索や予約などができる県立図書館ホームページの充実も図っています。

その一方で新たな課題として、生涯学習や地域づくりなどへのバックアップが図書館に期待されてきています。これからも職員一同、皆様の期待にお応えできるよう調査・研究のお手伝いや情報提供など、サービスの充実に努めてまいりますので、今後とも東部図書館をよろしく願いいたします。

千葉県立東部図書館長 野沢洋子

### ▼ 年末年始休館日のお知らせ

12月28日(日)から1月5日(月)まで、休館します。  
なお、休館中でも資料の返却ができますので、東部図書館正面入口左側にありますブックポストをご利用ください。

ホームページURL  
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイトURL  
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

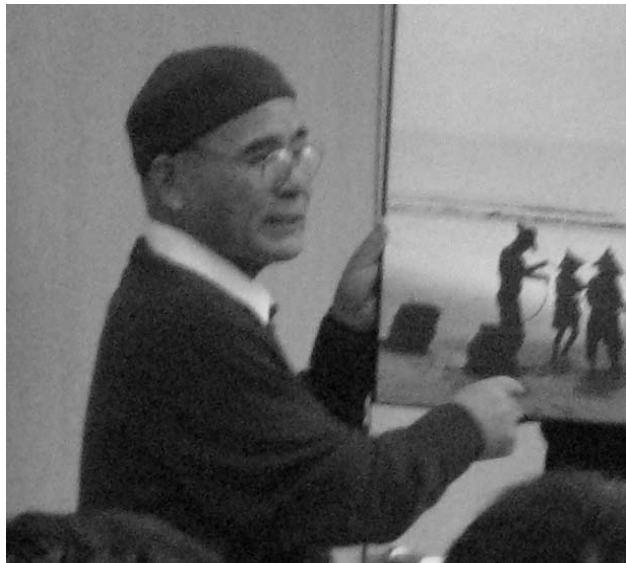


特集：平成20年度歴史講座

## 「写真家が見た九十九里浜—オッペシ・港・消えた砂浜」報告

11月22日（土）、開館10周年にあたり、当館研修室において、歴史講座を開催しました。当日は老若男女70名の参加があり、旭市在住の写真家小関与四郎（こせき・よしろう）氏をお迎えし、小関氏の約50枚の全紙版の写真を拝見しながら、50余年の経験から出る、熱のこもったお話を伺いました。講演終了後には懇談会も開かれ、盛況のうちに終了しました。会場には小関氏所蔵の写真雑誌や万祝など貴重な資料も展示されました。以下にその一部を紹介いたします。

### 1 カメラとの出会い



野栄の農家に生まれ、子どものころ、隣家の主人が持っていた蛇腹のカメラに惹かれた。学校を卒業し、親戚の自転車屋に奉公に出、お金をため、カメラを買い、写真にのめりこんだ。あるとき写真雑誌に九十九里の風景が載っているのを見て、これなら俺にも撮れると思った。（写真家の間で小関氏はオッペシの小関さんと呼ばれている。）

### 2 文人墨客と九十九里浜

九十九里には古くから文人墨客が訪れている。大正時代に徳富蘆花は九十九里に滞在し、九十九里を小説等にも書いている。『智恵子抄』の智恵子も療養に九十九里の別荘を訪れていた。「里の秋」で有名な童謡詩人の斉藤信夫も住んでいた。

### 3 九十九里浜の変遷

九十九里浜は遠浅で港はできないと言われていた。浜には網元の力を誇示するように船が並んでいた。昔は浜から海までイワシ漁の船をおっぺしていかなければならなかった。昭和39年に飯岡で海岸侵食が始まった。九十九里浜は開発されたところとそうではないところの二つに分かれる。開発されたところは虫歯になり、いまは護岸工事で総入歯になっている。

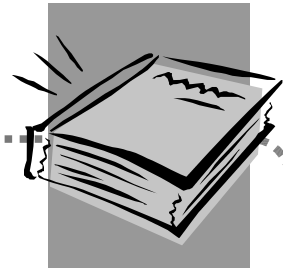
### 4 写真家としての私

私は自分のことを記録屋だと思っている。レンズを通してあるがままに撮る。いまは無くなった風景が写真に残っている。人間が変われば風景も変わる。写真と同じように風景も光と影でできている。

いっぺん九十九里を歩いて見てください。



## 参考図書カフェ (4)



### 「消費の県民性を探る

—47都道府県で売れる商品・売れない商品」

坂本光司研究室・アタックスグループ／編 同友館 2007

請求記号[6752/26]

今回紹介する「消費の県民性を探る—47都道府県で売れる商品・売れない商品」は、総務省が毎年発行している「家計調査年報」平成12年～平成16年の5年分を分析することにより、47都道府県(県庁所在地)の消費動向を調査したものです。

本書では身近な187品目を取り上げていますが、これを見ると消費動向にも地域性・県民性が現れていることがわかります。5年間平均で「カステラ」の消費支出第1位は長崎県(昭和40年以降常に1位)というように、誰でも納得できそうな品目もある一方、「てんぷら・フライ」の第1位は福井県(昭和50年以降常に4位以内)、「牛乳」第47位は北海道(生産ランキングでは第1位)というようにちょっと意外な品目もあるようです。

### ところで、千葉県(千葉市)の消費の特徴は・・・

全国第1位! 「国内パック旅行費」「遊園地入場・乗り物代」

全国第2位! 「干しあじ」「あさり」「干しのり」「梅干し」「新聞」

特に「干しあじ」をよく消費する傾向は過去40年をみても変わらないそうです。また、あまり貯蓄をしない県の一つにも挙げられています。

全般的な傾向をみると、千葉県では全国平均的な支出がおこなわれているため、新商品のテストマーケティングにふさわしい県ということです。

※参考図書は多くの人が利用できるように東部図書館では個人貸出はしていませんので、図書館内でご利用ください。



### 名作映画鑑賞会のご案内

毎月第3土曜日に、名作映画鑑賞会を開催しています。(入場無料)  
併せて、13時から「日本を縦断する映像発表会」作品も上映しています。  
どうぞ足をお運びください。

開 場：午後0時50分～ビデオ上映：午後1時～映画上映：午後1時30分～  
場 所：東部図書館3階研修室 ※来館又は電話でお申し込みください。

- ★1月17日(土) 監督：ジョージ・キューカー／主演：キャサリン・ヘップバーン  
『若草物語』 (1933年 アメリカ モノクロ 117分)
- ★2月21日(土) 監督：ヴィットリオ・デ・シーカ／主演：ランベルト・マジョラーニ  
『自転車泥棒』 (1948年 イタリア モノクロ 85分)
- ★3月21日(土) 監督：五所平之助／主演：田中絹代  
『伊豆の踊子』 (1933年 日本 モノクロ 94分 サイレント)

<行ってみよう！近くの施設 (27)>

# 心があたたかくなる かわいい絵本の図書館

～子育てサロン スマイル付属 絵本ライブラリー～

東庄町公民館の近く、以前交番があった場所に、10月25日、「絵本ライブラリー」がオープンしました。子育てサロン“スマイル”の隣にあり、白い壁と突き出たデッキ、かわいい動物の絵が目を引きま

す。運営するのは、東庄町笹川中央保育園の石井園長で、長年の夢を実現させた図書館です。開館日には、大勢の子どもや保護者に絵本の読み聞かせが行われました。



玄関から靴を脱いで中に入ると、真新しい木の床や本棚が来館者を迎えてくれます。本棚には子どもたちが喜びそうな絵本がたくさん並べられています。現在の蔵書冊数は、2,859冊です。絵本や児童図書が中心ですが、一般向けの図鑑や環境、生活、心の問題などの本もあります。

園長によると、絵本ライブラリーを誰でも自

由に楽しんでもらいたいということです。天気の良い日はデッキを利用し、ひなたぼっこをしながらの読書も良いかもしれません。



今後はさらに現実の問題に対応できるようにしたいということで、目標蔵書数は1万冊、幼児・小学生向けを中心に幅広いジャンルを整備し、館外貸出しもできるようにしていきたいと、夢が広がる図書館です。

明るく、温かい雰囲気の絵本ライブラリーに、足を運んでみませんか。

◆所在地 香取郡東庄町笹川い

4713番地173

(問い合わせは笹川中央保育園

0478-86-0027)

◆開館予定日 月曜～金曜 9:30～15:30

と時間 土曜(月1回) 10:00～15:00

■ 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

## 編集長の独り言

今号には、開館10周年記念として実施した小関与四郎氏の講演会報告も載っています。今後とも県立図書館として、よりよいサービスを目指してまいりますので、よろしく願いいたします。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL : <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>